

## 第5回審議会意見等

参考資料3

No.	委員名	質問・意見・提案の要約	市の回答	対応状況
1	伊坂委員	P27、P30 皆生温泉の年間宿泊客数の目標値も市内外国人宿泊客数の目標値も5万人増となっている。主に米子駅前の宿泊施設を考えられるが、皆生温泉の入込客数と区別できるようにして欲しい。		策定作業の中で検討
2	桂藤委員	ITリテラシーを高めていくこと、シティプロモーションの推進、インバウンドに触れられていて良いと思う。		済
3	中村委員	海外の人が日本に滞在する際のハブ的な機能を持つ場所になればもっと栄えるのではないか。		策定作業の中で検討
4	中村委員	車が無ければまちの中でどう生活すればよいか、と考えてしまう。		策定作業の中で検討
5	澤田委員	地元企業の振興、地域産業の活性化、持続的な企業の発展、またインバウンドやスポーツツーリズムに触れられており、商工会議所が策定しているビジョンとも同じ方向。商工会ではサイクルイベントを開催しており、規模を拡大し、海外からも参加してもらえようようにしたいと考えている。この地域をサイクルの聖地にしたいと考えており、そのための誘客の手段が盛り込まれていて良い。		策定作業の中で検討
6	斎木委員	保育士の処遇改善が気になる。 P22 放課後児童クラブや児童館の職員のなり手が少ない、利用したくても条件に合わずに利用できないといった話を聞いている。検討して欲しい。		策定作業の中で検討
7	斎木委員	角盤町エリアが地ビールフェスタでにぎわっている一方、米子駅前の商店街がさびれている。市内のものづくりの作家さんがいることから、空き店舗を利用して作品発表するなど、エリアの利用方法を考えて欲しい。		策定作業の中で検討

No.	委員名	質問・意見・提案の要約	市の回答	対応状況
8	徳田オブザーバー	交通網の整備が最前線にあり、米子の個性をうかがえる内容になっている。現状維持が難しい中、利便性を高めるのは至難の業。また、伯備新幹線と山陰新幹線との選択、在来線の地元移管等課題はたくさんあり、長期展望が必要。	新幹線を整備するためには、基本計画路線から整備計画路線に格上げする必要がある、今後2～3年が勝負。JR在来線や地元負担の問題も含めて国に要望している。 路線バスは儲かっている路線と、儲かっていない路線を明らかにし、儲かっていない路線はデマンドタクシー等福祉的な要素も含めて公共交通を守るなど、公共交通体系を再編することとしている。 基本目標を冒頭に記載しているのは、車社会になり、中心市街地がさびれ、公共交通が衰退している現状に対し、舵を切るという決意を示したものの。	策定作業の中で検討
9	徳田オブザーバー	ウォークアブル推進都市については、米子の資源を活かした歩いて楽しいまちづくりという方向性は良いと思う。		策定作業の中で検討
10	徳田オブザーバー	鳥取大学医学部や米子工業高等専門学校について米子の特徴として挙げられていた。医学部は医療や健康分野、高専は産業・教育・子育て分野に関わると思う。まちづくりにどう取り込んでいくのか鮮明にしてもよいのではないか。		策定作業の中で検討
11	徳田オブザーバー	中海等の地域資源の活用について、循環型社会をめざし、自然環境を守り、利用していくことをもう少し前面に出しても良いのではないか。		策定作業の中で検討
12	吉岡委員	前回の総合計画のほうが市民生活に密着した内容で、カテゴライズもよかった。課題も変わらず、達成できていない項目もあるので、基本構想は変更しなくても良いのではないか。 また、前回は市民アンケートやワークショップを実施していた。前回意見を聞いた市民に聞いてみてはどうか。	今回の総合計画は、これまでと比べて米子市が方向性を変えようとしているもの、今後特に力を入れようとしているものを重点的に示そうとしている。前回策定の際に意見を聞いた市民に確認することは難しい。	済
13	吉岡委員	社会問題化しているひとり親家庭の貧困の問題は含めないのか。	P19 出産・育児から子育てに係る包括的な支援のなか、子ども総合相談窓口等に対応する。 10月に子どもの貧困対策推進計画を策定する予定であり、総合計画に盛り込んで完成形をめざしたい。	策定作業の中で検討

No.	委員名	質問・意見・提案の要約	市の回答	対応状況
14	加藤会長	公共交通は路線バスのみ突出している印象。MaaSのようにICTを活用した視点、永江のコミュニティベースの取組、グリーンスローモビリティ等の新しいチャレンジも含めていくと良い。		策定作業の中で検討
15	加藤会長	P2 数値目標 運行本数を増やして利便性を高めると、運行キロ数も増える。運行キロ数が変わらないということは、現状維持している反面、何もしていないように見える。 数値目標として掲げることが良いかも含めて検討して欲しい。	数値ではなく、これから取り組もうとすることを具体的に示す等表現の変更も含めて検討したい。	策定作業の中で検討
16	中村委員	P2デマンド交通等、事務局の考えていることが計画では読み取れない。 計画段階のことも含めて、事務局の思いが伝わるよう工夫して欲しい。	工夫する。	策定作業の中で検討
17	渡部委員	京都では一定料金で観光地を巡ることができる。米子は距離に応じて高くなる。工夫できないか。	市内の移動で上限をきめる等検討している。乗継運賃制度の導入の表現にとどめているが、検討中という表現で具体的に記載するほうが分かりやすい。検討段階のこともお示しできるように工夫したい。	策定作業の中で検討
18	加藤会長	公共交通に舵を切るといしつつ、一般的な内容になっている。運賃、便数、駐車場等について具体的に記載するとよい。日本は独立採算のため、交通機関ごとに精算しており、これがシームレスになると便利。ICT活用も含めて具体的な内容で、表現の仕方も積極的にして欲しい。		策定作業の中で検討
19	桂藤委員	IT分野は5G導入の動きもあり、今後どれだけ変化していくかは予測の範囲。オープンデータの活用等は積極的ではないと感じる。オープンデータ専用サイトを企業へ開示する等すれば、地元企業や県外企業による活用が増える。		策定作業の中で検討
20	加藤会長	高等教育機関について、内容をもっと肉付けしてもよいのではないか。 P6の公民連携対話窓口の件数が5件は少ない。		策定作業の中で検討

No.	委員名	質問・意見・提案の要約	市の回答	対応状況
21	加藤会長	P5 ウォークアブル推進都市の検討で、語句の説明があると良い。また、推進都市となって、何をしていくか、何を指すか記載すると良い。		策定作業の中で検討
22	吉岡委員	公民連携対話窓口について、一般市民は”公民”と聞いて、公民館しか思い浮かばないため、官民連携のほうわかりやすい。		策定作業の中で検討
23	吉岡委員	2-2公民館を拠点とした地域づくりと2-3地域福祉活動が別々に取り組まれ、それぞれ関わるのは大変。複合的な役割を担ってもらうようにしてほしい。	担い手不足が課題。また、役員が忙しい理由として、事務量の多さがあり、事務負担軽減の検討を行っている。	策定作業の中で検討
24	古賀副会長	高等教育機関との連携について、何をするのか具体的に記載してほしい。	市の特徴である部分を強調すべきとご指摘を市民意見でもいただいております、表現については検討したい。	策定作業の中で検討
25	古賀副会長	<p>国県・他自治体との連携協力で、鳥取県西部圏域や中海・宍道湖・大山圏域等の活動に触れているが、圏域における立ち位置、市のカラーを教えてください。</p> <p>5市の意見がまとまらなければ、米子が音頭を取る等して実現する方向に進めてほしい。</p>	<p>西部圏域においては中核的な役割を担う人口減少時代を見据え、広域行政で共同事務に取り組んでいるほか、米子道4車線化の要望等を米子市が中心となって実施している。</p> <p>中海・宍道湖・大山圏域については、基本的には5市は対等の立場であり、新幹線の要望活動、広域観光、インバウンド対策等を実施している。</p>	済
26	古賀副会長	society5.0について、鳥大附属病院でもAIの利活用等に関する研究を進めており、交流人口の拡大につながる対外的な取組との連携もありえると考える。他地域との連携・協力関係の取組も入れてほしい。	これから様々な展開がある。国が示す全体像が分かっていない状況。	策定作業の中で検討
27	桂藤委員	市民は米子市でITを活用する仕事をしたいと思っているが、分からない状態。連携をとりやすい窓口があると良い。2-8高等教育機関との連携に盛り込まれると良い。	連携する機関と、内容により違う。IT分野は行政にも民間にも必要。産業振興や経済活性化等については経済部所管で話をさせていただく。	策定作業の中で検討

No.	委員名	質問・意見・提案の要約	市の回答	対応状況
28	山根委員	まちづくりの基本目標の見出しが重いがある単語と平易な単語、動詞、名詞が混在しばらばら。 新商都について、昔の商都米子を復活させるのか、あるいは新しいまちという意味か分かりにくい。基本目標ごとの詳細な説明をしっかりと記載すべき。	新商都はかつての小売だけではない、新しい商売も含めたものとしてつけられたもの。内部留保を従業員に還元すべきではないか、働く人が豊かにならないといけないというもの。 内部で検討する。	策定作業の中で検討
29	山根委員	地元企業の振興と地域産業の活性化 事業継承も国を挙げての課題である。国や鳥取県、商工会議所、商工会等の関係機関と連携して取り組むことが分かるよう記載されているとよい。 数値目標がビジネスマッチング商談会エントリー企業数が上げられているが、商談件数の方がよい。	数値目標について、商談数という踏み込んだ数値目標を設定できないかを検討する。 事業継承の取組、関係機関との連携についても計画に加えることも検討したい。	策定作業の中で検討
30	斎木委員	10月に停電があり、電力会社に連絡しても通じず、町内放送も1回きり。自然災害が発生する際にどの様に対応していくかも触れてもらえると良い。	中国電力との取り決めでは、大規模停電が発生した場合、市に対し広報の応援要請ができることをあらかじめ決めている。防災行政無線については、高齢者や耳が不自由な方にとっても有効な伝達手段といえない。補完する多様な手段を整備していく必要がある。	済
31	斎木委員	ハザードマップは書き換えられていくのか。	国等の知見が変わる度に作り直している。今後新しい視点が出てくるたびに作り直していくものと考えている。	済
32	濱本オブザーバー	永江地区で取組が始まったモデル事業(カーシェアリング)についての記載を検討してはどうか。	福祉分野も含めて、地域公共交通で位置付ける方向で検討したい。	策定作業の中で検討
33	藤吉委員	関係人口の拡大、濃密化について、市に関わる役割が見えなければ関係性が見えにくいと思う。他自治体では市の企業の商品販売や広報を実施しているところがある。コンテンツで検討していることがあるか。	メールマガジンで地域情報を提供しており、その中で関わってもらえるものがあれば協力してもらおう。濃密化の面では、ふるさと納税制度を利用したアイデア募集・提案制度を検討している。	済
34	澤田委員	事業承継はキーワードとして経営革新・6次産業化・農商工連携等の様々な項目に関わってくるため、どこまで記載していくのか相談させて欲しい。また、連携先の1つに商工団体も記載して欲しい。		策定作業の中で検討

No.	委員名	質問・意見・提案の要約	市の回答	対応状況
35	赤澤委員	ひとり親家庭の所得向上の話があったが、ハローワークの事業で米子市(福祉保健部)と連携している。4-4に記載されている「企業や国・県・学校関係者等の雇用対策関係機関との…」に該当するものと理解している。		済
36	吉岡委員	ひとり親世帯の所得向上が地域GDPを上げることにつながり、購買力を上げて地域活性化していく方向性を打ち出しても良いのではないか。		策定作業の中で検討
37	入江委員	4-13 数値目標で婚活イベント参加者の成婚数とあるが、違和感がある。米子市の規模で男女の出会いが多くなるような数値目標を設定できないものか。		策定作業の中で検討
38	入江委員	インバウンドを5万人増やすということであったが、皆生温泉のまちづくりとの関連性を持ちながら、今後の施策を検討して欲しい。		策定作業の中で検討
39	岡村委員	仮に所得向上という文言を残すなら、基本方向のどの取組が所得向上につながっていくのか分かるようにして欲しい。		策定作業の中で検討
40	岡村委員	4-12 本市の様々な情報を盛り込んだメールマガジンの配信とあるが、「様々」は必要か。せっかくよい情報を発信しても、他と混ざってしまうと良いものが見えなくなる可能性がある。		策定作業の中で検討
41	岡村委員	5歴史・6スポーツ…について、経済、観光、教育等につながっていくものであるため、縦割りにすることなく、横断的に米子のGDP拡大につながっていくような取組にして欲しい。		策定作業の中で検討
42	森本委員	事業承継は閣議決定もされており、重要。基本計画に記載してよいのではないか。		策定作業の中で検討
43	森本委員	地域おこし協力隊について、任期終了後創業する人への金利優遇の施策もある。地域おこし協力隊の活用も含めて移住定住につなげていくと良いのではないか。		策定作業の中で検討

No.	委員名	質問・意見・提案の要約	市の回答	対応状況
44	田後委員	民生委員、在宅福祉委員など改選が決まっていない地域がある。地域が衰退している現状を踏まえ、希望が持てるような取組があると良い。	2-2、2-3に含まれている。米子市としても課題として捉えている。	策定作業の中で検討
45	堀尾委員	「Society5.0」の表現が難しい。分かりやすい文言にするほうが良い。		策定作業の中で検討
46	堀尾委員	今後取り組んでいこうとしている検討案は方向性が書いてあるとわかりやすい。新しい取組や検討方向案が記載されていると、数値目標ともリンクさせて理解しやすい。		策定作業の中で検討
47	加藤会長	4-2 数値目標が1件となっており、具体的な事業があるように見えることから、はっきりと「実施する」としたほうが良い。関連資料を読むと、令和3年度で達成するとなっており、併せて検討して欲しい。		策定作業の中で検討